


<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<p>大阪府の中央部の北側、神崎川を隔て大阪市の北に位置し、空の玄関口である大阪国際空港や日本最初の大規模ニュータウンである「千里ニュータウン」があり、人口も微増傾向にある。</p> <p>一方で老年人口の割合が増加しており、少子高齢化が進展している。また施設の老朽化や地域コミュニティを支える担い手不足も課題となっている。その解決のため地域資源を活用した子育てと職住近接の推進を通して、全員参加型のSDGsコミュニティの創出をめざす。</p>	<h3>2. 関連するゴール</h3>	
<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>本市の抱える課題に対し、「本市の強みや特性を発展させ、まち全体で子どもたちを育み、その子どもたちが愛着と誇りをもってまちを創っていく。そのために多様な主体が協働のもと、創意工夫し、明日がもっと楽しみと思えるまちにしていく」ことを2030年のあるべき姿とする。これを実現するために、「将来役立つ教育」、「支えあう地域」をキーワードに市民・事業者・行政が一体となって地域課題の解決に向けて取組みを推進する。</p>		
<h3>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</h3> <p>① 『豊中SDGsパートナー登録制度』 ⇒市内でSDGsに取り組んでいる事業者、団体等を対象とした登録制度を創設。登録団体の取組みを市ホームページ等で広く周知・共有するとともに、登録団体同士の連携を図るためのフォーラムを開催。</p> <p>② 『地域課題解決支援事業』 ⇒民間事業者等と市が協働で地域課題の解決に当たり、市民サービスの向上や新たなビジネスの創造をめざす実証実験を実施。</p> <p>③ 『NATSをはじめとした自治体間連携』 ⇒NATS（隣接する4つの中核市の頭文字をとった自治体間連携の名称で、西宮市・尼崎市・吹田市・豊中市により構成）など、地域課題解決に向けた自治体間連携の推進。</p>	<h3>6. 取組成果</h3> <p>① 令和3年4月に制度開始、3月末時点で83団体が登録。団体間連携を図るために本市の他のプラットフォームである「公民学連携プラットフォーム(事業者、NPO、大学等が地域課題のために連携して取り組むネットワーク)」と共催のフォーラムを開催し、より幅広い視点で連携の可能性を話しあった。団体間での連携事業もいくつか生まれている。</p> <p>② 全庁から課題を募集し、選定された5つの課題に対して民間事業者等から31件の提案の応募があり、全ての課題に対してマッチングを行うことができた。実証実験を終えた後は、本格導入や、見えてきた新たな課題の解決に向けて事業者と引き続き検討している事例もあり、自律的好循環につながっている。</p> <p>③ NATSとして地球温暖化対策に関する自治体間連携に関する基本協定を締結したほか、労働相談窓口の相互利用を開始した。また吹田市と配水場の共同化に関する協定を締結し、水道事業の経営効率化を図った。さらに、隠岐の島町、能勢町と森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結した。</p>		
<h3>5. 取組推進の工夫</h3> <p>① 登録要件を事業所に限らず、団体や教育機関等に拡大し、様々な分野で取組みを行っている団体等の登録を促進した。</p> <p>② 全庁的に課題を取りまとめたうえで、対象を選定・マッチングし、中間支援事業者等の支援も得ながら伴走支援を行った。</p> <p>③ NATS（ナッツ）については府県をまたいだ自治体間連携となるため、連携しやすい分野から進めた。</p>	<h3>7. 今後の展開策</h3> <p>① 引き続き登録団体数の増加をめざすとともに、特に経済面における団体間の連携を図ることで、市内でのSDGsの取組みを推進する。</p> <p>② 今後も民間事業者等と協働して地域課題解決に取り組むとともに、実証実験から本格実施に至るよう支援を強化する。</p> <p>③ NATSによる環境面での具体的な事業の検討や、その他市町村とのカーボン・オフセット事業など広域的な連携を進める。</p>		
<h3>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h3>	<p>NATSについては、府県をまたいだ兵庫県2市、大阪府2市の4つの地理的に隣接した中核市による自治体間連携という画期的な取組みであり、今後も様々な分野における連携事業を検討し、他地域における先駆的なモデルとなるよう取組みを進めていく。</p>		